

2015年北海道—東京（太平洋コース）五十嵐成臣さんの行進日記

～北海道・青森・岩手・宮城～

【北海道】 5月4日礼文島に入る。

【5月5日】 北海道と東北5県が被爆60周年で植えたエゾ彼岸桜を見に緑ヶ丘公園へ。このところの温かさのためか、桜の花が1輪。夕方「うすゆきの湯」にゆく。地元の人に声をかけられ「平和行進に参加するため」と話すと「原爆はなかなかなくなる…頑張ってください」と激励される。

【5月6日】 強風について行進開始。村役場の周辺を行進し、フェリー乗り場へ。フェリーも遅れ、稚内入り。集会には全労働や宗谷教組の人たち40名くらいが参加。集会後、強風について南稚内まで行進。



【5月7日】 稚内市、豊富町、音威子府村、美深町を訪問。早足の訪問のため、ゆっくり話しをしてもらえなかったが、「広島に行って原爆資料館を見た。とても耐えられない・子ども達にも伝えてゆかないと…原発も牧畜や農業、林業が中心。これらの産業を破壊する」と。夕方は名寄市内を行進。過疎化がすすんで人通りも少ない。シャッター通りになった!!（札幌以外はみな同じとか）と。名寄市、志別市、剣淵町、和寒町を訪問。志別市では文科省より「原発に関する副読本が生徒分下ろされてきた。内容は「放射能は自然界にあるもので、浴びても何の心配することもない」というもの!! 講師も派遣してきて講習会もやっているとのこと。

【5月9日】 旭川に入る。花咲運動公園から行進。左側、スタンヒル球場、右側に自衛隊旭川駐屯基地。この道は師団通り（現・平和通り）といい、この道を通り兵士たちは旭川駅より出陣した!! 途中、石狩川に架かる鉄筋で太い鉄が打ち込まれた頑丈な橋、旭橋。（昔は戦車橋と言われたとか!!）を渡り、市役所で終結。そのあと旭川駅前署名行動。インドネシア、スイス人3名を含め、60筆以上の署名が集まった。

このあと深川市、妹背牛町、滝川市など訪問、市内行進。ここで昔、国鉄争議団で25年東京で闘った畠山と出会った。「そのころ石川委員長（JMIU）はじめ皆さんに裁判闘争や行商で世話になった。その頃、うつ病になったが皆さんに支えられ、最後まで闘えた!! 懐かしい思い出だ!!」と。今は北空地労連で頑張っているとのこと。



砂川市、奈井江町、美唄市、岩見沢市、江別市などを訪問。市内行進を行い、札幌市では幹線コースの野幌百記念塔から出発。このほか、清田、豊平、手稲と札幌北、西コースと6コースあり、最長24KMのコースで700名の参加でした。幹線コースでは勤医労の若い組合員がトランペットを吹き行進の先頭に国際青年リレー行進のタスキをかけて。行進の後半には衆議院議員の畠山和也さんも飛び入りで行進も盛り上がる!!

【5月31日】北海道の行進が終わり、青森県へ。青森平和公園で引き継ぎ集会。医療生協の若い参加者が子ども達を連れて多数参加!!楽しい行進を。

【青森】6月1日からは、津軽半島を半周。蓬田村、外ヶ浜町、平館村、今別町、中泊町を訪問して五所川原市へ。

青森県全体でも人口減少が知事選でも焦点となっていますが、津軽半島は特に減少していて、町内行進しても地元の参加者は通りすがりの人の名前がすべてわかると、名前を呼んであいさつしながら行進。この日は鱒ヶ沢町、深浦町を行進（日本海コースはつがる市、鶴岡町を行進し浪岡町で合流）



6月3日からは太平洋コースを行進。浅虫温泉を通り、六ヶ所村、横浜町、野辺地町を行進。六ヶ所村では町長と懇談。核兵器廃絶の点では一致。アピール署名もいただいた。このあと、十和田市、三沢市などを行進。八戸市の宿に帰る途中、ウミネコの繁殖地「蕪島」へ。3・11では壊滅的な被害を受けたけれどほぼ回復、島内の散策道までウミネコの雛が。道の横には卵を温める親鳥も。今日行進中、信号で止まった間、並走していた車の中から「頑張ってください」と千円札が!!カンゲキ…。青森の行進は7日間、知事選のさなか平和行進も無事に岩手県に引き継いでくださって大変ありがとうございます。

【岩手】6月6日から 銀河鉄道、金田一温泉駅で青森県から岩手県に引き継ぎ。二戸市、滝沢市を行進。盛岡市、紫波町、花巻市へ。花巻市の市内行進には岩手県被団協、名誉会長齋藤政一さん 92歳も参加。齋藤さんは陸軍の将校で広島で被爆、建物の下敷きになり三日間意識不明で死亡したと思った部下が荼毘にしようとして火をつけたとき、「熱い!」と意識を取り戻りし助けられたとのこと。頭蓋骨や肋骨の骨折、全身被爆。終戦後、岩手に帰ってきたが、県内にも被爆者が数百人!!被爆者としての苦しみや生活苦で一家心中、助けることができなかった…と絶句する場面もありました。翌日も市内行進に元気に参加。



花巻市では若い人を原水爆禁止世界大会に参加させようと3名の代表のうち2名を高校生に決め、激励会で紹介。「原水禁について勉強して伝えていきたい」と。奥州市では激励会に岩手県内のJMIU支部の仲間も参加、激励を受ける。



【宮城】6月14日から岩手県から宮城県へ。栗原市、大崎市など行進。震災のときは倒壊した家もあり、最近、復興住宅を建造しているが、いまだに放射能風評被害や放射性廃棄物の最終処分場建設計画など多くの問題を抱えての平和行進になっています。古川市では JMIU 宮城地域支部の丹野さんが行進に参加。

大和町では自衛隊大和駐屯地前を行進。ここには戦車大隊などが置かれて隣接する天城寺原演習場へ。一般道戦車用に整備されている道を通って行き来しているとのこと。演習場には米軍も来ているとのこと。



宮城県内での話題で気になったこと。

朝日新聞の記者が25年前に書いていた慰安婦問題の記事が最近バッシングを受けましたが、その記者の娘さんが今年になって高校生反核大使に選ばれ（作文を提出し選ばれた）、その記事が大手の新聞に写真が本名で掲載されたことで脅しのメール多数送られてくるようになったと。現在、周囲の人たちが彼女を励ます会を作って励ましているとのこと。

6月21日より福島県に引き継がれました。